

日本ユニセフ協会2010年度 年次報告概要

(2010年4月1日～2011年3月31日)

活動の報告 日本ユニセフ協会2010年度の活動

2010年度、日本ユニセフ協会は、アドボカシー(政策提言)活動として、先進国の中でも日本の取り組みが大幅に遅れている「児童ポルノ」問題解決のため、法改正や民間主導による流通防止対策などを求める国民運動を開始し、ユニセフを支援するみなさまからも、多大なご支持・ご協力をいただきました。ご支援に深く感謝いたします。そのほかの広報、啓発、募金活動としては、2010年秋に発表されたユニセフの新戦略「公平性<エクイティ>～格差のない支援を子どもたちに～」に基づき、さまざまな活動を推進しました。その一部を以下にご紹介いたします。

2010年

4月

- 4月4日 ユニセフ・ラブウォーク中央大会開催
ボランティアを含め総勢774名が参加

5月

- 5月12日 アンソニー・レーク 新ユニセフ事務局長がユニセフハウスを訪問
- 5月25日～6月11日 春季ユニセフ・キャラバンを実施し、関東6県の知事・教育長への表敬訪問、教職員向け研修会、学校でのユニセフ教室を実施
- 5月27日 「児童ポルノがない世界を目指して」国民運動発足

6月

- 夏のユニセフ募金キャンペーン実施
- ユニセフ・ミャンマー活動報告会

7月

- 7月25日～8月1日 モンゴル・スタディツアー実施

8月

- 教職員対象の「ユニセフセミナー」と、中・高校生を対象とした「ユニセフリーダー講座」を開催

9月

- ユニセフ・カードとギフト 2010秋冬キャンペーンがスタート
- ハイチ地震 復興募金キャンペーンの実施
- MDG連続セミナー「ワクチンが守る子どもたちの命～車椅子に乗ったストリートロッカーズのスペシャルメッセージ」、「衛生習慣とトイレが守る命と健康～世界の3人に1人がトイレを使えない現実～」を開催

10月

- 10月5日 第10回国際協力講座スタート(全15回)
- 10月12日～29日 秋季ユニセフ・キャラバンを実施し、東北地方6県の知事・教育長への表敬訪問、教職員向け研修会、学校でのユニセフ教室を実施
- 10月15日 「世界手洗いの日」イベントの実施。一般公募した100組の手洗いサポーターを通じ、全国各地で手洗いの大切さを伝える
- 10月27日 ユニセフ・シンポジウム「ユニセフの新戦略＝僻地の子を最優先に」開催

11月

- 冬のユニセフ募金キャンペーン実施

12月

- 12月23日 第32回ユニセフハンド・イン・ハンド募金中央大会開催

2011年

1月

- 1月17日 マンスリー・サポーターの中から、サッカー選手の長谷部誠さんをリーダーとした「TEAM HASEBE」が発足
- 「児童ポルノがない世界を目指して」国民運動に全国から100万筆を超える署名が寄せられる

2月

- 2月8日 ユニセフハウスに20万人目の来館者
- 2月27日～3月6日 生協・地域組織スタディツアー(インドネシア)

3月

- 東日本大震災を受け、ユニセフが半世紀ぶりの日本への支援を表明、日本ユニセフ協会 被災地域への緊急募金の呼びかけ及び支援活動を開始

- 3月5日～14日 国際協力講座スタディツアー(スリランカ)

- 3月19日～27日 2009年から3回目となるTAP PROJECTを実施。(今回お寄せいただいた募金は「東日本大震災緊急募金」として被災者支援に役立てられます)

TAP
2011



世界手洗いの日

日本ユニセフ協会の活動を支えるボランティアの方々

東京都港区高輪にある日本ユニセフ協会の「ユニセフ・ハウス」には1、2階に、途上国の子どもたちの現状や、ユニセフの歴史・支援活動を紹介する展示場があり、学生・ガールスカウト・ボーイスカウト、各種団体の方々、親子連れで賑わっています。展示の説明をするのは、研修を受けたボランティア・スタッフの方々です。そのほか、カードやプロダクツの整理や頒布を手伝うボランティアの方々、事務のお手伝いをしてくださる方々も大きな支えとなっています。このほか、日本全国26カ所にある地域組織もボランティアによって支えられ、ユニセフ支援を地方からも支えていただいています。



- ボランティア ▶ (展示、事務関係含め160名、国内大使2名)

1年間の訪問学校数：648校 来館者：17,924人

(3月31日現在)

写真：©日本ユニセフ協会